

事業名		単位	令和元年度															評価コメント	今後の方針	
			計画数値			実績(見込み)			評価											
			A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の ニーズ量 ／計画上 の確保方 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～ 90%又は110% ×:～70%又は 130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又は 130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又は 130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又は 130%～				
(内訳) 西部		人	357	357	0	335	364	315	93%	◎	101%	◎	88%	○	92%	◎	たり概ね40人以下の 適正定員で確保を行 うことによるもので ありやむを得ない。 坂小学校区につい ては、C／Dの評価 が“×”で、過剰に確 保方策を進めている ように見受けられる が、部屋単位で確保 方策を進めるため、 ニーズの少ない小学 校等ではやむを得な い。 赤坂小学校区、平 尾小学校区について は、C／Dの評価が“ ×”で、実際の確保方 策が不足している状 況があるが、実際の 受け入れにおいては クラブ室を有効活用 し弾力的な受け入れ を行うことで、待機 児童の発生を抑え対 応している。 なお、実績数値の 時点を揃える為、5 月1日現在の数値を 表示しているが、7 月新たに小坂井西小 学校区の「つばめく らぶ」が民営クラブ として開設された。 このため、小坂井西 小学校区について は、C／Dの評価が“ ×”で実際の確保方策 が不足しているよう に見受けられるが、 クラブ増設により実 際のニーズに対し不 足が出ないよう受け 入れができた。			
小学1～3年生			274			284		282												
小学4～6年生			83			51		33												
国府小学校			86	86	0	97	105	97	112%	○	122%	◎	112%	◎	92%	◎				
小学1～3年生			75			91		91												
小学4～6年生			11			6		6												
御油小学校			64	64	0	81	73	72	126%	○	114%	◎	112%	◎	110%	○				
小学1～3年生			49			69		69												
小学4～6年生			15			12		3												
秋小学校			19	19	0	8	35	8	42%	×	184%	×	42%	×	22%	×				
小学1～3年生			9			3		3												
小学4～6年生			10			5		5												
長沢小学校			44	44	0	23	27	23	52%	×	61%	×	52%	×	85%	◎				
小学1～3年生			30			22		22												
小学4～6年生			14			1		1												
赤坂小学校			50	50	0	36	26	36	72%	○	52%	×	72%	○	138%	×				
小学1～3年生			37			29		29												
小学4～6年生			13			7		7												
御津北部小学校			25	25	0	28	18	21	112%	○	72%	○	84%	○	155%	×				
小学1～3年生			21			23		21												
小学4～6年生			4			5		0												
御津南部小学校			69	69	0	62	80	58	89%	○	115%	◎	84%	○	77%	◎				
小学1～3年生			53			47		47												
小学4～6年生			16			15		11												
(内訳) 北部			515	515	0	460	485	432	89%	○	94%	○	83%	○	94%	◎				
小学1～3年生			423			389		379												
小学4～6年生			92			71		53												
三蔵子小学校			121	121	0	104	133	93	85%	○	109%	◎	76%	○	78%	◎				
小学1～3年生			99			94		93												
小学4～6年生			22			10		0												
金屋小学校			56	56	0	38	36	34	67%	×	64%	×	60%	×	105%	○				
小学1～3年生			48			32		32												
小学4～6年生			8			6		2												
千両小学校			31	31	0	29	34	29	93%	◎	109%	◎	93%	○	85%	◎				
小学1～3年生			22			18		18												
小学4～6年生			9			11		11												
八南小学校			112	112	0	103	109	103	91%	◎	97%	○	91%	○	94%	◎				
小学1～3年生			87			84		84												
小学4～6年生			25			19		19												
平尾小学校			49	49	0	51	33	42	104%	◎	67%	×	85%	○	154%	×				
小学1～3年生			40			49		42												
小学4～6年生			9			2		0												
桜町小学校			44	44	0	34	35	32	77%	○	79%	○	72%	○	97%	◎				
小学1～3年生			36			30		28												
小学4～6年生			8			4		4												
代田小学校			102	102	0	101	105	99	99%	◎	102%	◎	97%	○	96%	◎				
小学1～3年生			91			82		82												
小学4～6年生			11			19		17												
3	子育て短期支援事業	人日	80	80	0	85	85	85	106%	◎	106%	◎	106%	◎	100%	◎	ニーズ量に対し 全てサービスを提 供できている。	引き続きサービ スの周知に努め、 利用希望に対応で きるよう、予算等 の確保に努めてい く。		
4	地域子育て支援拠点事業	人回	99,054	99,054	0	48,992	48,992	0	49%	×	49%	×	0%	×	100%	◎	児童館及びつど いの広場の利用者 のうち、保護者を 含まず、0歳～2 歳児の利用者数を 集計している。 北部は、つどい の広場があるた め、他地区に比べ 数値が高くなっ ているが、北部以 外は計画数値を大 きく下回っている。 地区ごとに増減 はそれぞれだが、 利用者の総数とし ては、前年度から 少し減となる見込 みである。	引き続き、親子 向けの教室を実施 したり、利用者支 援事業の定期的な 相談日を設けるな ど、0～2歳児の 親子が利用しやす いよう工夫と周知 に努める。		
(内訳)東部			22,804	22,804	0	5,073	5,073	0	22%	×	22%	×	0%	×	100%	◎				
南部			23,825	23,825	0	9,574	9,574	0	40%	×	40%	×	0%	×	100%	◎				
西部			21,764	21,764	0	9,475	9,475	0	43%	×	43%	×	0%	×	100%	◎				
北部			30,661	30,661	0	24,870	24,870	0	81%	○	81%	○	0%	×	100%	◎				

平成30年度						平成29年度						平成28年度						平成27年度					
評価						評価						評価						評価					
C/B	D/B	E/B	C/D			C/B	D/B	E/B	C/D			C/B	D/B	E/B	C/D			C/B	D/B	E/B	C/D		
97% ◎	97% ◎	84% ○	100% ◎			99% ◎	94% ○	95% ○	104% ○			113% ○	127% ◎	108% ◎	89% ◎			117% ○	131% ×	117% ◎	89% ◎		
128% ○	92% ○	98% ○	139% ×			106% ◎	98% □	105% ◎	108% □			127% ○	190% ×	127% ◎	67% ×			132% ×	190% ×	132% ×	69% ×		
186% ×	158% ×	152% ×	117% ○			152% ×	100% ◎	134% ×	152% ×			96% ◎	75% ○	95% ○	128% ○			104% ◎	75% ○	104% ◎	139% ×		
54% ×	159% ×	54% ×	34% ×			63% ×	154% ×	63% ×	41% ×			72% ○	327% ×	72% ○	22% ×			130% ○	295% ×	130% ◎	44% ×		
56% ×	56% ×	52% ×	100% ◎			130% ○	100% ◎	111% ◎	130% ○			129% ○	83% ○	96% ○	153% ×			90% ◎	83% ○	90% ○	107% ○		
62% ×	52% ×	62% ×	119% ○			73% ○	47% ×	73% ○	156% ×			146% ×	83% ○	140% ×	176% ×			143% ×	83% ○	143% ×	172% ×		
117% ○	105% ◎	111% ◎	111% ○			82% ○	100% ◎	82% ○	82% ◎			80% ○	54% ×	80% ○	147% ×			135% ×	85% ○	135% ×	158% ×		
67% ×	100% ◎	67% ×	67% ×			82% ○	100% ◎	82% ○	82% ◎			127% ○	166% ×	127% ◎	76% ◎			108% ◎	166% ×	108% ◎	65% ×		
99% ◎	107% ◎	93% ○	92% ◎			96% ◎	98% ○	94% ○	98% ◎			98% ◎	96% ○	97% ○	102% ○			89% ○	94% ○	86% ○	94% ◎		
92% ◎	123% ◎	84% ○	75% ◎			76% ○	100% ◎	76% ○	76% ◎			85% ○	119% ◎	85% ○	71% ◎			76% ○	118% ◎	76% ○	64% ×		
85% ○	102% ◎	85% ○	83% ◎			88% ○	100% ◎	88% ○	88% ◎			90% ◎	87% ○	90% ○	102% ○			105% ◎	87% ○	105% ◎	120% ○		
103% ◎	109% ◎	96% ○	94% ◎			78% ○	100% ◎	78% ○	78% ◎			106% ◎	110% ◎	106% ◎	96% ◎			66% ×	110% ◎	66% ×	60% ×		
86% ○	94% ○	82% ○	91% ◎			106% ◎	116% ◎	105% ◎	91% ◎			85% ○	75% ○	85% ○	113% ○			78% ○	59% ×	70% ○	132% ×		
156% ×	110% ◎	140% ×	142% ×			146% ×	100% ◎	136% ×	146% ×			87% ○	75% ○	87% ○	116% ○			77% ○	120% ◎	77% ○	64% ×		

事業名	単位	令和元年度																評価コメント	今後の方針	平成30年度				平成29年度				平成28年度				平成27年度							
		計画数値			実績(見込み)			評価												評価				評価				評価											
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量 ／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策 ／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数 ／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量 ／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～	C／B	D／B			E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D						
5 幼稚園における一時預かり事業	人日	17,211	17,211	0	33,623	33,623	33,623	195%	×	195%	×	195%	×	100%	◎	実際のニーズ量・確保方策は、計画数値を大幅に上回っているが、実際のニーズ量に対しては各幼稚園・認定こども園（1号認定）で実施している預かり保育の提供体制で充足できている。	現状の提供体制を維持・継続できるように幼稚園・認定こども園と調整を図っていく。	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D						
(内訳) 1号認定		10,508																																					
2号認定		6,703																																					
6 保育所その他の場所での一時預かり事業	人日	10,458	10,500	42	－	8,434	8,434			80%	○	80%	○			一時預かり事業は、計画を下回る利用者数となったが、昨年度と比較すると500人程度増加する見込みである。 子育て援助活動支援事業では、産前産後の援助など増加傾向にあり、定期的な援助が必要な依頼会員の有無が実績に大きな変動がある。 子育て短期支援事業(トワイライト)は、実績がない。	一時預かり事業は、必要に応じて、実施園や受入クラス数を拡充し、必要量を確保していく。																						
(内訳) 一時預かり			9,650			7,510	7,510			77%	○	77%	○																										
子育て援助活動支援事業			850			924	924			108%	◎	108%	◎																										
子育て短期支援事業			0			0	0																																
7 病児・病後児保育事業	人日	1,390	1,400	10	495	600	380	35%	×	42%	×	27%	×	82%	◎	計画では1,400人分を確保することになっているが、600人分の確保にとどまっている。 実際のニーズ量は利用登録者数で、昨年度より30人程度増加する見込み。実際の利用者数は利用者延人数で、昨年度より30人程度減少する見込みである。 なお、今年度から対象を病児まで拡充している。	数値上はニーズ量に対し確保方策に余裕があるが、実際には利用時期に偏りがあり、余裕がある状態ではないため、引き続き、もう1箇所施設を確保することを検討する。																						
8 ファミリー・サポート・センター事業（就学児童のみ）	人日	1,470	1,470	0	661	661	661	44%	×	44%	×	44%	×	100%	◎	子育て援助活動支援事業は、利用回数の多い会員の有無で数字の変動が大きく、前年度より減少する見込みである。																							

事業名	単位	令和元年度																平成30年度				平成29年度				平成28年度				平成27年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		計画数値			実績(見込み)			評価								評価コメント	今後の方針	評価				評価				評価				評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量／計画上の確保方策C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～			C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D	C／B	D／B	E／B	C／D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9 利用者支援事業	か所	2	2	0	2	2	2	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎	子育て支援センターにおける基本型と保健センターにおける母子保健型が連携し、気になる家庭を中心に支援を行っている。	令和2年度より保育課における特定型（保育コンシェルジュ）を実施する。	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎	200%	×	200%	×	200%	×	100%	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

※計画策定時にニーズ量(見込み)よりも確保方策の方が少ないものについては、計画上、令和元年度未までに達成することとしています。